



OPBF バンタム級タイトルマッチにおけるタイム計測ミスについて

JBC 選手権委員会は、表題の件につき下記の通り決定した。

記

あくまで競技スポーツの本質に鑑み「ノーコンテスト（無効試合）」としたうえで、勝利した栗原選手の救済を図るべきとの意見もあったが、1、12 ラウンド終了していること、2、採点において三ジャッジとも同一であったこと、3、タイム超過が試合の結果にアンフェアな影響を与えたとは考えられないこと、4、本事案が JBC ルール 115 条 1 項⑥「ノーコンテスト」各号の規定に該当しないこと、により本試合を公式試合 (JBC ルール第 56 条) とすべきと裁定する。

なお、本件に関しては、すでに JBC 理事長の謝罪並びに関係者の処分がなされているが (2 月 18 日付け)、当選手権委員会として、実効性のある再発防止策の実施を JBC に対し強く求めることとする。具体的には、1、試合役員の資格審査の厳格化、透明化、2、試合役員選任の適正化、透明化、3、タイムキーパー 2 名体制の堅持を要請する。

以上

2019 年 2 月 27 日

一般財団法人日本ボクシングコミッション

選手権委員会 委員長 安河内 剛

